

令和5年度全国学力・学習状況調査

<吉岐市の結果の概要>

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 実施対象

- 小学校調査……小学校第6学年（国語、算数）
- 中学校調査……中学校第3学年（国語、数学、英語）

※中学校英語「話すこと」に関する調査は、文部科学省 CBT システムを用いたオンラインの音声録音方式で、当日実施校と期間内実施校に分かれて実施され、本市中学校は、全て期間内実施校として実施した。

3 実施日

令和5年4月18日

4 調査内容

(1) 教科に関する調査

小学校【国語、算数】	中学校【国語、数学・英語】
調査問題では、次の①と②を一体的に出題。	
① 身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題	② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

(2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

5 結果の状況

(1) 教科に関する結果

校種	教科	状況	成果・課題（成果は○、課題は●）
小学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国の平均正答率をやや下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、自分の考えをまとめること。 ● 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、条件に合わせて書くこと。 ● 情報と情報との関係付の仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国の平均正答率を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配の法則を用いたりすること。 ● 底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。 ● 百分率で表された割合について理解すること。

校種	教科	状況	成果・課題（成果は○、課題は●）
中学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国の平均正答率を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。 ● 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。 ● 具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国の平均正答率を大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数と整式の情報の計算をすること。 ● 図形分野において、ある事柄が成り立つことを構想に基づいて説明すること。 ● 集団のデータ分析の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国の平均正答率を大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まとまった英文を読み、文と文との関係を正確に読み取ること。 ● 日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ること。 ● 社会的な話題に関して読んだことについて、自分の考えとその理由を書くこと。

(2) 児童生徒質問紙に関する結果

吉岐市の児童生徒の傾向
<p>○ 将来の夢や目標を持っていると回答している児童が9割以上、生徒が約6.7割以上いる。</p>
<p>○ 次の質問に「当てはまる」と回答した児童生徒や学校が多く、地域社会との関わりが深いことがうかがえる。</p> <ul style="list-style-type: none">・「今住んでいる地域の行事に参加している。」・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。」・「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった。」
<p>○ 昼休み等、本読んだり借りたりするために、学校図書室等に週1回以上行くという児童生徒の割合や、「読書が好き」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を上回っていることから、本市における読書環境が整備されていることや、読書活動が充実していることがうかがえる。</p>
<p>● 小学校算数や、中学校の全教科で、「回答時間が足りなかった」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を上回っており、回答時間の不足を感じている児童生徒が多い、思考力・判断力等を用いて回答することや、文書量が多い問題や、表やグラフと関連して読み解くような問題を解く際の読解力等に課題があると推察される。</p>
<p>● 「新聞を読んでいる」という児童生徒の割合が、全国平均を下回っている。</p>